◆「よんでんグループビジョン」の概要

（別紙）

＜事業環境の変化＞

地球環境問題　資源需給の逼迫化　少子高齢化

＜ビジョンを策定するにあたっての基本的な考え方・姿勢＞

「公益の心」をグループ共通の不変の価値観と位置づけた上で、環境変化を「チャンス」と捉え、自らの成長・発展に結びつけていく。

信頼のよんでんグループブランドのさらなる向上

よんでんグループビジョン　～しあわせのチカラになりたい。～

よんでんグループビジョンを実現していく上で重視する「３つの視点」

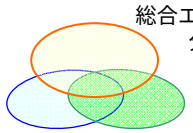
環境適合　地域共生　未来創造

よんでんグループの目指す将来像

暮らしを支えるマルチユーティリティー企業グループ

私たちは、四国地域を基盤に、お客さまから最も信頼されるパートナーとして、エネルギーから情報通信、ビジネス・生活サポートまで、多様なサービスをワンストップで提供できる企業グループへの変革・成長を目指します。

＜３つの事業分野＞



よんでんグループビジョンを実現するための「３つの挑戦」

（1）「電気」を中心とした低炭素なエネルギー社会実現への貢献

① 時代に適合する電源ベストミックスの追求と安全・安定運用
→原子力を中核として、ゼロ･エミッション電源比率の一層の向上に挑戦。

② 信頼の電力ネットワークの形成
→電力ネットワークの適切な維持･更新はもとより、より一層環境に優しい電力供給を可能とする高度化に向けた取り組みに挑戦。

③ 生活・産業における「電化シフト」のさらなる推進
→「電化シフト」を通じて、低炭素社会時代に相応しいエネルギー社会の構築への貢献とグループの収益拡大との両立に挑戦。

（2）電気事業以外における付加価値創出への絶えざる挑戦
→グループの総合力を結集し、新たな付加価値の可能性に挑戦。

（3）次代を切り拓く人財基盤の強化
→「人＝財(タカラ)」との認識のもと、中長期的視点に立った戦略的人財マネジメントの推進や人財重視の組織風土の醸成に挑戦。

中期経営構想2015

○2011～2015年度の５年間を、よんでんグループビジョンで描く将来像・方向性を実現するための基盤固めの期間と位置づけ、取り組むべきアクションプランや達成を目指す数値目標を設定。

○数値目標は、

・グループ事業全体の経営成果を測る「総合目標」と

・３つの挑戦課題に対応した「テーマ目標」で構成。

中期経営構想２０１５

総合目標（連結ベース）

総資産利益率（ROA）
５年間平均で４.０%以上

自己資本比率
各年度末２５～３０%

キャッシュフロー
５年間累計で６,３００億円以上

維持更新投資（3,500億円程度）

戦略対応原資	資　本　政　策
○電気事業での低炭素化投資 ○電気事業以外の分野での成長投資　など	○配当 ○自己株式の取得・消却 ○有利子負債の削減　など

テーマ目標（「３つの挑戦」への対応）

- ○ ゼロ･エミッション電源比率50%以上の確保
- ○ 原子力設備利用率85%（5年間平均）の達成
- ○ 5年間累計の電力販売拡大量：10億kWh以上
- ○ 電気事業以外の売上高：5年後に750億円程度の規模を確保
- ○ 海外IPP事業の新規案件開拓：5年間で既参画プロジェクトと同程度